

## 業績 (2008.4-2009.3)

著書・翻訳							
1		2007年度公開講座 スポーツと健康～からだを動かして健康になろう～	スポーツ医学研究センター・健康マネジメント研究科主催	慶應義塾大学スポーツ医学研究センター		2008	4
2	勝川史憲	生活習慣の改善：運動	健診・人間ドックハンドブック-第3版	中外医薬社, 東京	pp.81-87	2008	4
3	勝川史憲	肥満・やせの評価と対応	健診・人間ドックハンドブック-第3版	中外医薬社, 東京	pp.102-107	2008	4
4	勝川史憲	脂肪肝を運動で解消するには	栄養と料理		pp.93-97	2008	4
5	石橋秀幸, 鬼島一司, 林 卓史, 筈篠賢治, 赤池行平, 作田雅子	「野球体」をつくる!		西東社, 東京		2008	6
6	小熊祐子	Ⅲ生活習慣病の臨床知識と運動療法の実際 5.脂質異常症(高脂血症)	運動療法と運動処方 身体活動・運動支援を効果的に進めるための知識と技術 第2版	文光堂	pp.136-141	2008	10
7	小熊祐子	アンチエイジング(抗加齢)医学に基づく生活習慣改善指導/身体活動とアンチエイジング-運動のサイエンス	アンチエイジング医学の基礎と臨床 改訂2版	メジカルビュー社	pp.275-277	2008	10
8	山下光雄, 大木いずみ	栄養成分調整特殊食品と栄養成分補給調整食品	食事指導のABC 第3版	日本医事新報社	pp.160-175	2008	10
9	山下光雄, 代田浩之	虚血性心疾患	食事指導のABC 第3版	日本医事新報社	pp.201-212	2008	10
10	趙靖芳, 石橋秀幸, 今井丈		カラダは水中運動でよみがえる	学習研究社, 東京		2008	10
11	勝川史憲	肥満・メタボリックシンドローム	健康と運動の疫学入門	医学出版, 東京	pp.106-115,125-130	2008	10
12	勝川史憲	生活習慣病の臨床知識と運動療法の実際：高尿酸血症・痛風	運動療法と運動処方: 身体活動・運動支援を効果的に進めるための知識と技術	文光堂	pp.156-161	2008	10
13	勝川史憲	生活習慣病の知識①メタボリックシンドローム	健康運動指導者必携ハンドブック(2009年度版)	(財)健康・体力づくり事業財団	pp.17-22	2008	11
14	木下訓光	V. 運動と環境	中央労働災害防止協会(編)「運動指導専門研修I」	中央労働災害防止協会		2009	2

論文						
1	井上修二, 吉澤和彦, 勝川史憲	隠れ肥満	日本医師会雑誌	137:80-81	2008	4
2	勝川史憲	世界の介入研究から何を学んだか? : 内臓脂肪—世界における内臓脂肪の減少効果を見た介入研究から何を学びましたか?	肥満と糖尿病	7(1):21-23	2008	4
3	勝川史憲	運動・身体活動の介入効果	Medical Asahi	37(4):27-29	2008	4
4	大西祥平	アンチ・ドーピングのための頻用: 薬の知識 各論 循環器系	臨床スポーツ医学	25(59):447-455	2008	5
5	勝川史憲	体重変化・運動介入にともなうメタボリックシンドロームの各代謝指標の変化	Keio Endocrine & Metabolite Survey 研究会記録集第8集		2008	6
6	大西祥平	スポーツ医学の基礎「目標設定をいかにするか」	全国高体連ジャーナル	15:40-42	2008	7
7	勝川史憲	肥満に対する運動療法	動脈硬化予防	7(2):40-45	2008	7
8	勝川史憲	メタボリックシンドロームに対する内臓脂肪減少の効果	体力の科学	58(7):450-455	2008	7
9	大西祥平	内科・その他の疾患とその予防 競技現場での脱水と水分補給	臨床スポーツ医学	25(suppl.)449-453	2008	11
10	飯田健次, 小熊祐子, 佐野毅彦, 大西祥平	太極拳の健康への効果と継続要因について—継続年数の違いによる比較研究—	運動療法と物理療法	19(4):332-339	2008	12
11	勝川史憲	代謝疾患における運動療法: 運動強度の立場から	内科	103(2):376-379	2009	2

学会発表						
1	Katsukawa F, Shimajima K, Sakaki S, Azuma K, Oguma Y, Kinoshita N, Ishida H, Onishi S, Yamazaki H	How much weight loss is needed to improve each component of metabolic syndrome? (poster).	16th European Congress on Obesity .		2008	5

学会発表					
2	Kinoshita N, Sakai T, Katsukawa F, Okada J, Kato M, Tanemura T	Efficacy of Preparticipation Brain CT Scan for Preventing Acute Brain Injuries in Amateur Kickboxers (oral).	55th Annual Meeting of American College of Sports Medicine	2008	5
3	宮川祥子, 仰木裕嗣, 大澤繁男, 山下光雄, 小熊祐子, 佐藤蓉子	中高年向け生活改善プログラム「インターネット健康コミュニティ」	ITヘルスケア学会	2008	5
4	飯田健次, 小熊祐子, 佐野毅彦, 大西祥平	太極拳の健康への効果とその継続要因について -継続年数の違いによる比較研究-	日本運動療法学会大会	2008	6
5	Kinoshita N, Oguma Y, Katsukawa F, Onishi S, Yamazaki H	The relationship between percent fat and 1500m track race performance in female adolescent runners (poster).	13th Annual Congress of the European College of Sports Science.	2008	7
6	Imai T, Maruyama H, Ishibashi H, Onishi S	Research on Selective Contraction of Peroneus Longus Muscle as Preime Mover in Planter Flexion	10th International Congress of the Asian Confederation for Physical Therapy	2008	8
7	大河原一憲, 田中茂穂, 宮地元彦, 高田和子, 勝川史憲, 田畑泉	24時間の呼吸商からみた高強度筋力トレーニング実践者の脂質酸化能	第63回日本体力医学会	2008	9
8	増田元長, 大西祥平, 藤井裕輔	T D S (Talent Diagnose System) を用いた体力測定会報告 1. 小学5,6年生の静止時の立位姿勢との関連性も含めて	第63回日本体力医学会	2008	9
9	丸田巖, 石橋秀幸, 今井丈, 大西祥平	短距離選手のハムストリングス肉離れ後期における振動トレーニングの効果	第63回日本体力医学会	2008	12
10	勝川史憲	肥満症における運動療法の意義 (教育講演)	第29回肥満学会	2008	9
11	山崎元	大学スポーツにおけるスポーツ医学の研究と臨床-過去20年の歩み-	第19回日本臨床スポーツ医学会 学術集会	2008	11
12	勝川史憲	介入試験からみた内蔵脂肪の減少と代謝指標の改善効果	第19回日本臨床スポーツ医学会 学術集会・シンポジウム	2008	11
学会発表					

13	大西祥平	スポーツドクター・内科医として選手のメンタル コンディショニングへの関わり	第19回日本臨床スポーツ医学会 学術集会	2008	11
14	小熊祐子, 八木紫, 橋本玲子, 大澤祐介, 木下訓光, 勝川史憲, 大西祥平, 山崎元	メタボリックシンドローム・その予備軍における 効率的なライフスタイル改善法の探索-第1報-	第19回日本臨床スポーツ医学会 学術集会	2008	11
15	若野紘一, 石橋秀幸, 今井丈, 小熊祐子, 大西祥平, 山崎元, 松本秀男, 竹田毅, 岩本潤	スポーツによる鼠径部痛 スポーツヘルニアに関する 調査	第19回日本臨床スポーツ医学会 学術集会	2008	11
16	石橋秀幸, 今井丈,大西祥平, 若野紘一,山崎元	ハムストリングス肉離れ後の振動トレーニングの 効果～走動作中の筋電図学検討をあわせて～	第19回日本臨床スポーツ医学会 学術集会	2008	11
17	宮川祥子, 小熊祐子, 仰木裕嗣, 大澤繁男	ITを活用した中高年向け生活習慣プログラムにお ける継続要因に関する検討	日本公衆衛生学会総会	2008	11
18	勝川史憲	運動・食事によるメタボリックシンドロームの改 善：エビデンスと今後の展望	第65回日本循環器心身医学会・ ランチョンセミナー	2008	11
19	勝川史憲	メタボリックシンドロームの介入と今後の展望： 若年肥満者の成績を中心に	第144回日本体力医学会関東地 方会・特別講演	2008	12
20	Hashizume Y, Yamashita T	Diet designing based on universal culinary desing	15th International Congress Dietetics	2008	

その他（講演など）						
1	山下光雄	食の来た道、1000年 食 育、食のいく道 ⑬人間栄養 学の幕開け	食生活		102(4):46-50	2008 4
2	山下光雄	食の来た道、1000年 食 育、食のいく道 ⑭体の栄養 情報を誰でも理解出来る工夫 を!	食生活		102(5):45-52	2008 5

その他（講演など）							
3	山下光雄	食の来た道、1000年 食育、食のいく道 ⑮栄養評価のものさしを考える	食生活		102(7):46-50	2008	6
4	山下光雄	食の来た道、1000年 食育、食のいく道 ⑯万能食事設計システム（食のユニバーサルデザイン）	食生活		102(7):42-45	2008	7
5	山下光雄	食の来た道、1000年 食育、食のいく道 ⑰折り紙で考える万能食事設計（食のユニバーサルデザイン）	食生活		102(7):42-49	2008	8
6	山下光雄	食の来た道、1000年 食育、食のいく道 ⑱折り紙で考える万能食事設計②（幼児から高齢者の食育について）	食生活		102(9):49-55	2008	9
7	山下光雄	食の来た道、1000年 食育、食のいく道 ⑲折り紙で考える万能食事設計③（マネーダイエット）	食生活		102(9):49-55	2008	9
8	山下光雄	食の来た道、1000年 食育、食のいく道 ⑳折り紙で考える万能食事設計④「食事バランスガイド」に応用	食生活		102(11):43-48	2008	11
9	山下光雄	食の来た道、1000年 食育、食のいく道 100kcal食品・食事交換表	食生活		102(12):44-48	2008	12
10	山下光雄	食の来た道、1000年 食育、食のいく道 肥満・メタボ対策用食品・食事交換表	食生活		103(1):59-63	2009	1
11	山下光雄	食の来た道、1000年 食育、食のいく道 慢性腎臓病（CKD）用食品・食事交換表	食生活		103(2):74-79	2009	2
12	木下訓光	質疑応答：最大酸素摂取量増加を決定する因子	日本医事新報		(4426):117-118	2009	2
13	石橋秀幸, 今井丈	対談：着地と足部の安定性—研究から見えてきたこと	トレーニング・ジャーナル	ブックハウスHD, 東京	pp.15-22	2009	2
14	山下光雄	食の来た道、1000年 食育、食のいく道 病者用特殊食品について	食生活		103(3):54-59	2009	3

15	石橋秀幸, 今井丈	手の指と足の指をしっかり使 おう 指ストレッチ&トレ ーニングで野球力アップ	中学 野球小僧	白夜書房	pp.130-135	2009	3
----	-----------	--	---------	------	------------	------	---